

新婦人の地域班が 道路の危険箇所を歩いて調査



した。この取り組みは、新婦人船橋支部が全市的に呼びかけているものです。

この日は東武線馬込沢駅の周辺から調査を開始。ホーム下の狭い歩道はすれ違うことも難しいほどで、わきを流れる水路にフタをしてその上を歩けるように出来ないかなどと話し合いながら進みました。木下街道（県道市川印西線）に入り、1時間ほど歩いて危険箇所を写真に収めました。道路の陥没やアスファルトのはがれ、歩道がなくて歩きづらい側溝のフタ、電柱が邪魔して傘をさしたまま通れない場所、大型店が出来て横断者が急増したため歩行者用信号が必要なところなど、改善してほしい地点が10カ所ほど見つかりました。

班ではこれらをまとめて、県道を管理している葛南土木事務所や県警本部などに改善を要望する予定です。

日本共産党支部の働きかた

渡つて いるが
だ。ぜひ信号
機をつけてほ
しい」との要
望が出されま
した。



日本共産党のアンケートに寄せられた
要望を党地域支部が県警につないで実
現した押しボタ信玄機。

日本共産党支部の働きかけで押しボタン信号が実現

葛南土木事務所に危険な道路の改善善を要請する日本共産党八木が谷支部の参加者と丸山慎一前県議（左）
＝9月10日・葛南土木事務所

ひつきり
ならず、
うことさ
査し、二
3 kmで
間、電柱
きな段差
地図に記

参考書
て恐い」
た」など
ました。
えるのに
改善して

“ママの会”などの市民団体が武器見本市を後援しないよう国に要請

いことを要請しました。

後援について、現時点で要請はない」としながら経産省は「日本の産業振興、商業発展に資する」などと答えました。防衛省は派遣について「友好国との意見交換や情勢の把握は重要」と述べ、すでに職員を現地に向かわせていると回答しました。

参加者は、「命を奪う武器を世界に拡散する場となる武器見本市は憲法

メツセで
のDSE
Iには6
5カ国1
70社以
上が参加
し、3省
とも後援
していま
す。

衆烟參



加者とともに要請する（右から）
野君枝衆院議員、さいとう和子前
院議員、丸山慎一前議員

9月7日、「安保関連法に反対するママの会@ちば」などが、防衛・経済産業・外務各省にたいして、来年1月に幕張メッセで開催が予定され

「武9条の理念に真っ向から反する」「武器の売買で経済を伸ばすなど絶対にやつてはならないことだ」と厳しく指摘しました。

日本共産党居住支部が土木事務所に 道路の調査結果を地図で示して要請



葛南土木事務所に危険な道路の改善を要請する日本共産党八木が谷支部の参加者と丸山慎一前議長（左）。

日本共産
党八木が谷
支部が9月
10日、土
木事務所に
県道の改善
を要請しま
した。

ひっきりなしに通るのに、歩行者は側溝を歩かなければならず、傘をさしたり、車椅子やベビーカーではすれ違うことさえできません。支部では毎年、道路を歩いて調査し、土木事務所に改善を要請。今回実施したのは2・3 kmで、指摘した改善点は、側溝の蓋のがたつきや隙間、電柱の移設、道路ペイントが消えかかっている、大きな段差、雑草が繁茂など53カ所。要請ではこれらを地図に記入したものを示して改善を求めました。

参加者は、「自転車で走るとクラクションを鳴らされて恐い」「知り合いが転んであわやという事態が起きた」など日常生活で感じている危険を実感を込めて話しました。事務所の担当者は「こうしたことを伝えてもらえるのはありがたい。現地を調査して、出来るものから改善ていきたい」と答えました。